

私は「学会」が大好きです。今回は学会の魅力についてお話ししたいと思います。
私が初めて学会に参加したのは昭和 60 年、当時研修 2 年目で麻酔科をローテーションしていた時の上司に誘われ、日本ペインクリニック学会なるものに行きました。開催地は秋田でしたが、上司に「車で行く」と言われ（東京からですよ！）、同級生が皆飛行機で行く、後部座席で聴きたくない曲をカラオケで歌い続ける二人の上司を乗せ（車にカラオケを積んでいたとは…）、秋田まで一人で運転しました。もちろん帰りも同じパターンです。正直、なんで俺だけ…と思いました。しかも、学会での役割は発表ではなく、花粉症の症例として誘発試験後に鼻粘膜を撮影され、星状神経節ブロックをされてからまた撮影して効果を見るという、上司の発表に出てくる患者役でした。

この何とも言えない学会初参加での収穫は、日頃病院内で見えるものとは違う「別人格」な上司の姿を知ったことでした。ただの怖い人だと思っていた上司が人間的にとってもいい人であり、一定の信頼感を築くことができたことで、その後の仕事がとてもスムーズになったことは言うまでもありません。

この貴重な（？）経験を通して私の学会観は形成されました。私にとって学会とは、生まれも育ちも出身大学も学年も違う様々な人たちと出会い、生の情報を交換し、その人の人間性や人生観を知り、井の中の蛙にならないようにする人生勉強の場です。その後多くの学会で、他施設の先生達と積極的に交流の場（主として夜）を持つことで、セッション中には聞くことのできない情報を仕入れ、様々な人間模様を知り、友人は飛躍的に増えていきました。ここで構築された人間関係は仕事にも大きく役立ち、手術に来てもらったり呼んでもらったり、患者様を紹介したりされたりなど、極めて有用なネットワークになりました。

私にとって「学会」は友達と出会う場所であり、またその輪を広げる場所です。実際私が今こうして医療に携わっていられるのも、すべては全国津々浦々でがんばっている友人達のお蔭です。そして、それを可能してくれたのが「学会」という集合体なのです。

「学会」は、ただ参加するだけでと一見無機質な学術集会に見えますが、同じ志を持った仲間が一堂に会する有機的な集合体です。単にセッションを聞いたり、発表したり、同門だけで集まって宴会をしていたのでは魅力半減です。

さあ、皆様も学会に行ったら話してみたい人にどんどん声をかけ、友達ネットワークを築いて下さい。JSES は理事長や理事をはじめとして、すごく偉そう（または怖そう）に見える先生もみんないい人達ですし、有名でなくても優秀な人材がたくさんいます。困った時には必ず力になってくれますよ！

12 月の JSES では、交流の場を広げましょう！そして私ともお友達になって下さいませ。少しはいいことがある…かも???

(山本 学)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 17 巻 第 3 号) 2012 年 6 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：2,940 円（本体 2,800 円＋税 5%）。* 会員には毎号送付されます。

2012 年 年々めめ予約購読料：冊子版 17,160 円、電子版/個人 17,160 円、電子版/共有 19,800 円、冊子＋電子版/個人 22,160 円、冊子＋電子版/共有 24,800 円（税込）（配送料：医学書院負担）* 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：北野正剛）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail : jses @ convention.co.jp（担当：野上）

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2012, Printed in Japan

発売：株式会社医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：水野、田村、安部）<http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23（振替口座 00170-9-96693 番）

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail : jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

当院における腸閉塞例に対する腹腔鏡手術症例の検討松本浩次・他 板橋中央総合病院外科

●症例報告

空腸動脈瘤破裂に対し腹腔鏡補助下手術にて救命しえた 1 例武藤頼彦・他 沼津市立病院外科

腹腔鏡補助下に切除しえた魚骨と PTP による小腸穿孔の 2 例椋棒英世・他 神戸労災病院外科

胸腔鏡下に切除した縦隔内脂肪腫の 1 例栗田和也・他 香川労災病院外科

大網内子宮内膜症に対して単孔式腹腔鏡下切除を行った 1 例工藤岳秋・他 JA 北海道厚生連旭川厚生病院外科
内視鏡を用いた omental patch method にて胃管を温存し救命しえた

胸腔鏡下食道切除後胃管穿孔の 1 例中沼伸一・他 黒部市民病院外科
Behçet 病による難治性食道潰瘍に対する胸腔鏡下食道切除術が

有用であった 1 例渡邊雄介・他 九州大学大学院臨床・腫瘍外科

遺残虫垂炎に対し腹腔鏡下盲腸楔状切除術を施行した 1 例田中肖吾・他 石切生喜病院外科

Spigel ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を施行した 1 例朽久保順平・他 浜松医科大学外科学第一講座

腹腔鏡補助下幽門側胃切除後の胃石による小腸イレウスに対する

腹腔鏡補助下胃石除去術の 1 例尾崎和秀・他 高知医療センター消化器外科

多発直腸カルチノイドに対して腹腔鏡下内肛門括約筋切除術を

施行した 1 例根木 快・他 癌研有明病院消化器センター消化器外科

腹腔鏡下に根治切除を行った肺癌大腸転移の 1 例三木友一朗・他 静岡がんセンター大腸外科

左手用細径鉗子追加単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術安本明浩・他 東北労災病院内視鏡センター

●私の工夫

気胸を併用した左側臥位胸腔鏡下食道切除術竹村雅至・他 兵庫医科大学上部消化管外科

腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術における卵巣固定法の工夫中山 毅 JA 静岡厚生連静岡厚生病院産婦人科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。